



日本語能力試験対策用

4級

問題集

中川良雄

凡人社

高健

闇をはせる光茫●平野栄久

江苏工业学院图书馆
藏书章

著者紹介

中川 良雄 (なかがわ よしお)

1955年滋賀県草津市生まれ

1983年関西学院大学大学院文学研究科

博士課程後期課程単位取得満期退学

現在京都外国語大学留学生別科助教授

日本語能力試験対策用 **4 級問題集**

1990年9月20日 初版第1刷発行

著 者 中川 良雄

発 行 株式会社 凡人社

〒102 東京都千代田区麴町 6-2

麴町ニュー弥彦ビル 2F

電話 03-472-2240

©1990 NAKAGAWA Yoshio

Printed in Japan

ISBN4-89358-096-5 C3081

はじめに

近年世界各国における日本語学習者人口の増加にともない、日本を訪れる留学生数も年々増加の一途をたどっている。また日本政府は、西暦2000年における「留学生10万人受け入れ政策」を発表し、日本語学校の整備・充実、教員養成等、積極的に動きだしてきた。日本への留学を希望する日本語学習者は、目下うなぎのぼりに急上昇中であり、その数は今後ますます増加するものと思われる。

本書は、日本国内外で日本語を学ぶ学習者のために編纂されたものである。

毎年12月初旬に、国内では財団法人日本国際教育協会、国外では国際交流基金の主催による「日本語能力試験」が日本国内外で実施されているが、本書は、これから同試験に臨もうとする学習者に利用してもらいたい。また受験予定がなくても、既習事項の確認用および実力養成用として、さらに日本への留学準備用の問題集として、教室内外での幅広い利用をお勧めする。

同試験は、1～4級から成るが、本書もそれぞれの級に対応しうる構成をとる。本冊は、日本語能力試験4級レベルの学習者を対象としているが、別に3級レベルの学習者用のものも用意してあるので、併せて利用してほしい。そして上にも述べたように、同試験受験者のみならず、幅広い層の利用者を目当てにしているので、各自の日本語能力の一応の目安として本書を役立ててほしい。

本書が、世界の日本語学習者の一助になれば幸いである。

本書の出版にあたり、凡人社社長の田中久光氏、同編集部の大橋牧子氏、米木久恵氏および同大阪店の渋谷晴正氏には一方ならぬお世話になった。紙面を借りてお礼申しあげたい。

1990年9月

中川 良雄

本書の使い方

— 教授者のみなさんへ —

本冊は、「日本語能力試験」4級レベル用の問題集である。何をもって4級用と決めつけるかには、さまざまな認定基準があろうかと思うが、次ページに掲げる「日本語能力試験認定基準」を一応の目安とした。と言っても、ここからここまでが4級者用と、レベル基準を設けるのは実際上不可能であるし、場合によって（殊に「文字」の設問において）は、使用頻度の高いものは、設問の重複する場合もあるし、4級レベルにしてはやや難しく思われる問題もある。これは使用頻度の高い形式は、何度も繰り返し学習することによって自然と身につけてもらう効果をねらったためと、本書が必ずしも実力確認用の問題集ではないためである。本書は、「日本語能力試験」受験者のみならず、すべての日本語学習者に、日本語運用能力を向上させるための問題集として利用してもらいたいのである。

「文字」に関する設問以外は、すべて選択形式とした。これは、実際の「日本語能力試験」が選択形式であることと、本書の利用者が退屈することなく、学習が進められるよう意図したためである。また漢字系学習者の場合、ただ漢字の並んでいるのを見れば、詳しい日本語文法を解せずとも、ある程度の意味内容が理解できるようであるが、正しい文法を理解し、正確な発音を身につけてもらうため、あえて「ひらがな」表記を多くした。実際の試験でも、4級程度では漢字の使用は大幅に制限されていることは言うまでもない。

本書は、第1回～第10回から成る。各回ごとに、「文字」「語彙」「文法」「読解」の各設問を用意した。巻末には得点表を掲げたので、学習者には毎回得点を記入させ、各人の弱点を見つけて補強して欲しい。

試験の構成及び認定基準

級	構 成			認 定 基 準
	類 別	時 間	配 点	
1	文字・語彙	45分	100点	高度の文法・漢字（2,000字程度）・語彙（10,000語程度）を習得し、社会生活をする上で必要であるとともに、大学における学習・研究の基礎としても役立つような、総合的な日本語能力。 （日本語を900時間程度学習したレベル）
	聴 解	45分	100点	
	読解・文法	90分	200点	
	計	180分	400点	
2	文字・語彙	35分	100点	やや高度の文法・漢字（1,000字程度）・語彙（6,000語程度）を習得し、一般的なことからについて、会話ができ、読み書きできる能力。 （日本語を600時間程度学習し、中級日本語コースを修了したレベル）
	聴 解	35分	100点	
	読解・文法	70分	200点	
	計	140分	400点	
3	文字・語彙	35分	100点	基本的な文法・漢字（300字程度）・語彙（1,500語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力。 （日本語を300時間程度学習し、初級日本語コースを修了したレベル）
	聴 解	35分	100点	
	読解・文法	70分	200点	
	計	140分	400点	
4	文字・語彙	25分	100点	初歩的な文法・漢字（100字程度）・語彙（800語程度）を習得し、簡単な会話ができ、平易な文、又は短い文章が読み書きできる能力。 （日本語を150時間程度学習し、初級日本語コース前半を修了したレベル）
	聴 解	25分	100点	
	読解・文法	50分	200点	
	計	100分	400点	

だ い ー か い

【も じ】

もんだい1 つぎの ふんの ____ の ことばを かんじ (と ひらがな) で
かきなさい。 (2×25=50)

- (1) あの おとこの せんせいは だれですか。
1 2
- (2) きょうは ごがつ よっかです。
3 4 5
- (3) まいにち だいがくで さんじかん にほんごを べんきょうします。
6 7 8 9
- (4) てを あらってから ごはんを たべます。
10 11
- (5) あの かわの むこうに わたしの いえが あります。
12 13
- (6) せんせいは こどもが ふたり います。
14 15
- (7) あかい はなは いっぽん いくらですか。
16 17 18
- (8) がっこうは しがつから はじまります。
19 20
- (9) みぎの ほうに やまが みえます。
21 22 23
- (10) わたしの くには とても ちいさいです。
24 25

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25

もんだいII つぎの ふんの かんじ (と かな) は どう よみますか。

ひらがなで かきなさい。

(2 × 25 = 50)

- (1) あなたは 今 お金を いくら もっていますか。
1 2
- (2) 一年は 三百六十五日です。
3 4
- (3) あの 白い 車は わたしの 父のです。
5 6 7
- (4) きのは いい 天気でしたが、おとといは 雨でした。
8 9
- (5) 妹は ラジオで 音楽を きいています。
10 11
- (6) へやの 中に 女の 人が 七人います。
12 13 14 15
- (7) あなたの 弟の 名まえは なにですか。
16 17
- (8) この ページに かん字が いくつ ありますか。
18
- (9) あの 木の 下で 少し 休みましょう。
19 20 21 22
- (10) 九月九日は なんよう日ですか。
23 24 25

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25

【ご い】

もんだい1 つぎの ぶんの () の なかに なにを いますか。A~Dの
なかから いちばん いい ものを ひとつ えらびなさい。

(5×10=50)

- (1) ここに ノートが () あります。
A ごこ B ごにん C ごさつ D ごほん
- (2) これは ジュースと いう () です。
A かいもの B みるもの C たべもの D のみもの
- (3) きょうは わたしの たんじょうびです。うちで () を します。
A バーティー B パッティー C パーティー D パート
- (4) この へやは たいへん () です。
A あかるい B くろい C あかい D あおい
- (5) だいがくの ともだちに てがみを () 。
- A かきます B えます C します D とります
- (6) わたしは () 十じに ねます。
A まいど B まいまい C まいしゅう D まいばん
- (7) 「とおい」とは () ことです。
A おおきくない B よくない C ちかくない D はやくない
- (8) なつは あついですが、ふゆは () です。
A こわい B さむい C くるしい D ねむい
- (9) しがつに になると () の はなが きれいです。
A さくら B きく C もみじ D うめ
- (10) あさ おきたとき () と います。
A こんにちは B さようなら C こんばんは D おはよう

もんだいII []の なかの ことばと おなじ かんけいの ことばを

A~Dの なかから ひとつ えらびなさい。 (5×4=20)

(1) [大きい : 小さい]

- A うつくしい : きれいな B うれしい : おもしろい
C たのしい : かなしい D あつい : あたたかい

(2) [あね : おねえさん]

- A おじ : おじいさん B せんせい : がくせい
C にほんじん : がいこくじん D はは : おかあさん

(3) [ほん : よむ]

- A え : かく B でんしゃ : いく
C にほん : くる D うち : かえる

(4) [つくえ : テーブル]

- A りょこう : ホテル B しょくどう : レストラン
C えんぴつ : ボールペン D ほん : ノート

もんだいIII []の なかの ことばと おなじ グループの ことばを

A~Dの なかから ひとつ えらびなさい。 (5×3=15)

(1) [けしごむ、ノート、えんぴつ]

- A ボールペン、はさみ、まんねんひつ
B いす、つくえ、ベッド
C はがき、てがみ、きって
D かばん、くつ、ぼうし

(2) [しろい、あかい、くろい]

- A あかるい、くらい、せまい
- B あたらしい、ふるい、かるい
- C きいろい、あおい、ちゃいろい
- D ながい、おもい、おおきい

(3) [きのう、きょう、あす]

- A せんしゅう、こんしゅう、らいしゅう
- B まいにち、まいしゅう、まいつき
- C ごぜん、ごご、よる
- D あさ、ひる、ばん

もんだいⅣ つぎの せつめいに ちょうど いい ことばを A~Dの なかから
ひとつ えらびなさい。 (5×3=15)

(1) ごはんを たべるときに これを つかいます。

- A コップ B だいどころ C はし D りょうり

(2) ことばの いみが わからないときに これを みます。

- A じしょ B ざっし C しんぶん D としょかん

(3) あつくないです。すこし つめたくて とても きもちが いいです。

- A むしあつい B すずしい C さむい D ねむい

【ぶんぼう】

もんだい1 () の なかに なにを いますか。それぞれの A~Dの
なかから いちばん いい ものを ひとつ えらびなさい。

(5×10=50)

- (1) あなたは どこ () きましたか。
A で B から C と D も
- (2) あの おんなの ひとは () ですか。
A だれ B どれ C どこで D どちら
- (3) ずいぶん () になりましたね。
A さむ B さむくて C さむい D さむく
- (4) きょうは たいへん () 。
A つかれたです B つかれました C つかれでした D つかれたでした
- (5) ここに くるまを () ください。
A とおらないで B とまらないで C とめないで D とらないで
- (6) ねむい () コーヒーを のみます。
A とき B あいだに C のとき D あいだ
- (7) つかれた () はやく ねます。
A ながら B ので C のに D でも
- (8) てんきが よければ いきますが、あめが () いきません。
A ふっても B ふりますば C ふれなら D ふったら
- (9) きょうは ごがつ ついたち げつようび () 。
A だった B だろう C だ D であった
- (10) あなたは およぐ () が できますか。
A こと B の C ため D ので

もんだいII ____の ふんと おなじ いみの ふんは どれですか。それぞれの

A~Dの なかから ひとつ えらびなさい。

(5 × 4 = 20)

(1) ここにほんや えんぴつなどが あります。

A ここに ほんと えんぴつが ふたつ あります。

B ここに ほんも えんぴつも あります。

C ここに いろいろな ものが あります。たとえば ほんや えんぴつです。

D ここに ほんと えんぴつは ありますが、ほかの ものは ありません。

(2) わたしの ちちは すうがくの せんせいです。

A ちちは すうがくが わかりません。

B ちちは すうがくを おしえています。

C ちちは すうがくを ならっています。

D ちちは すうがくが きらいです。

(3) きのう 五人の ともだちと ハイキングに いました。

A きのう 六人で ハイキングに いました。

B きのう 五人で ハイキングに いました。

C きのう ともだちは 五人で ハイキングに いました。

D きのう ともだちは 六人で ハイキングに いました。

(4) どうろの みぎがわを あるいてください。

A どうろの みぎがわを あるかないほうが いいです。

B どうろの ひだりがわを あるいたほうが いいです。

C どうろの みぎがわを あるくのは あぶないです。

D どうろの ひだりがわを あるかないでください。

もんだいⅢ _____に つづく おんは どれですか。A～Dの なかから いい

ものを ひとつ えらびなさい。

(5 × 4 = 20)

(1) あなたの へやに なにか ありますか。

A いいえ、なにも ありません。

B つくえや いすや テープレコーダーなどが あります。

C はい、なにか あります。

D わたしの へやは にかいに あります。

(2) きのう どこかへ いきましたか。

A いいえ、どこかへ いきませんでした。

B いいえ、かいものに いきませんでした。

C はい、かいものに いきました。

D はい、どこかへ いきました。

(3) まいにち なにで がっこうへ いきますか。

A あるいて いきます。

B べんきょうしに いきます。

C あさ はやく おきて いきます。

D がっこうへ 行って べんきょうします。

(4) きょうしつに だれも いません。

A だれと だれが いましたか。

B なんにんぐらい いましたか。

C なにを していましたか。

D そうですか。どうしたんでしょう。

もんだいⅣ つぎの A～Dの ____の つかいかたが ちがう ものは

どれですか。ひとつ えらびなさい。

(5 × 2 = 10)

- (1) A つくえの うえに でんわが あります。
B かばんの なかに なにが ありますか。
C さとうさんは こどもが ふたり あります。
D ここに りんごが ふたつ あります。
- (2) A きょうは なんがつ なんにちですか。
B 三がつか 四がつに おきなわへ りょこうします。
C これは あなたの かさですか。
D あの ひとは どなたですか。

【どっかい】

つぎの ふんを よんで あとの しつもんに こたえなさい。こたえは A～Dの なかから いちばん いい ものを ひとつ えらびなさい。 (10×10=100)

わたしは 月よう日から 金よう日まで がっこうへ 行きます。じゅぎょうは まいにち 9じに はじまります。12じ10ふんから 1じまでは ひるやすみです。ひるごはんは がっこうの しょくどうへ 行って たべます。わたしは この じかんが いちばん すきです。クラスの ともだちと いろいろな はなしを しながら ごはんを たべます。じゅぎょうは 4じ10ふんに おわります。

じゅぎょうの あと 5じごろまで としょかんで べんきょうしてから アルバイトに 行きます。アルバイトは 月よう日から 土よう日まで まいにち あります。しょうがくせいや ちゅうがくせい、かいしゃの 人などに えいごを おしえています。

土よう日は じゅぎょうは ありません。あさ すこし おそく おきて、ゆっくり あさごはんを たべます。それから へやの そうじと せんたくを します。その あと 3じごろ アルバイトに 出かけます。日よう日は アルバイト は ありません。あさ はやく おきて、ちかくの きょうかいへ 行きます。ごご かいものに 行ったり、ともだちと あそびに 行ったりします。もちろん 日本ごの べんきょうも します。よるは すこし はやく ねることに しています。つぎの 月よう日には あさ はやく おきなればなりません。

わたしは まいにち いそがしいですから、りょこうしたり どこかへ あそびに 行ったりする じかんが ありません。こんどの なつやすみには いちど どこかへ りょこうしたいと おもっています。

- (1) この人は一しゅうかんに なんかい がっこうへ 行きますか。
- A 9じから 4じ10ふんまで 行きます。
 - B まいにち 行きます。
 - C 一しゅうかんに 五かい 行きます。
 - D 二かいだけ 行きます。
- (2) ひるやすみは どのくらい ありますか。
- A まいにち 一かい あります。
 - B 12じ10ふんから ひるやすみです。
 - C 1じまでが ひるやすみです。
 - D 50ふんかん あります。
- (3) ひるごはんは どこで たべますか。
- A ともだちと はなしながら たべます。
 - B がっこうの しょくどうで たべます。
 - C まいにち おいしい ものを たべます。
 - D ちかくの レストランへ 行って たべます。
- (4) じゅぎょうの あと すぐ うちへ かえりますか。
- A 5じごろまで としょかんで べんきょうします。
 - B すぐ アルバイトに 行きます。
 - C いつも よる おそくまで べんきょうしています。
 - D すぐ うちへ かえって せんたくを します。
- (5) この人は どんな アルバイトを していますか。
- A しょうがっこうの えいごの せんせいです。
 - B えいごを おしえています。
 - C かいしゃで はたらいています。
 - D としょかんで はたらいています。